

2014.10.06

## 【国際交流】理学療法学科 3 年生 14 名がドイツ研修に行ってきました

---

平成 26 年 9 月 17 日から 27 日の 11 日間、理学療法学科 3 年生 14 名が、毎年恒例のドイツ・フレゼニウス大学での研修に行ってきました。フレゼニウス大学は、ドイツ各所にキャンパスがあり、今回、イトシュタイン、フランクフルト、ミュンヘンの 3 か所を訪れました。ドイツの理学療法事情を実地に学び、学生の家ホームステイするなど、学習面でも交流面でも意義深いものとなりました。

中でも、今年の見玉は、“Fascia Project”でしょう。理学療法において筋膜(fascia)へのアプローチは、最近注目が高まっている最先端のトピックです。今回の研修では、訪問前から筋膜についての英語文献を日独の学生がともに読んで e-learning システム上でディスカッションを重ね、研修時に共同発表をしました。また解剖実習や、筋膜にアプローチする理学療法技術の指導などを受け、学びを深めることもできました。

このほか、“Patient Project”と名付けられたプロジェクトでは、実際の患者様(patient)を対象に、日独の学生が各々のアプローチを実際にデモンストレーションしました。同じ理学療法を学ぶ学生であっても、国によって着眼点や思考のスタイルが違うことを実感できたのも、大きな発見でした。

来年 2 月には、今回我々を迎えてくれたフレゼニウス大学の学生たちが、高崎に研修に訪れます。再会を今から心待ちにするとともに、来日研修も実りあるものにしていきたいと考えています。

高崎健康福祉大学とフレゼニウス大学は、今後とも、交流を発展させていきます。

※本研修は、日本学生支援機構の留学生支援制度(短期派遣)に採択され、奨学金を得て実施されました。



学生との集合写真



施設見学



Patient Project の様子



学生とゲームで交流



ドイツの学生との共同発表 (Fascia Project)